

グリーンICTコンサルティング



情報システム部門による環境経営

グリーンICTとは？

環境問題とICT

企業を取り巻く温暖化に起因する外部環境（「規制強化」、「取引先要求の増加」、「コスト増加の脅威」）が変化中、情報システム部門としてICTリソースに起因するCO2排出量の削減（Green of ICT）や、ICTを活用したCO2排出量の削減（Green by ICT）に取り組む企業が増えつつあります。



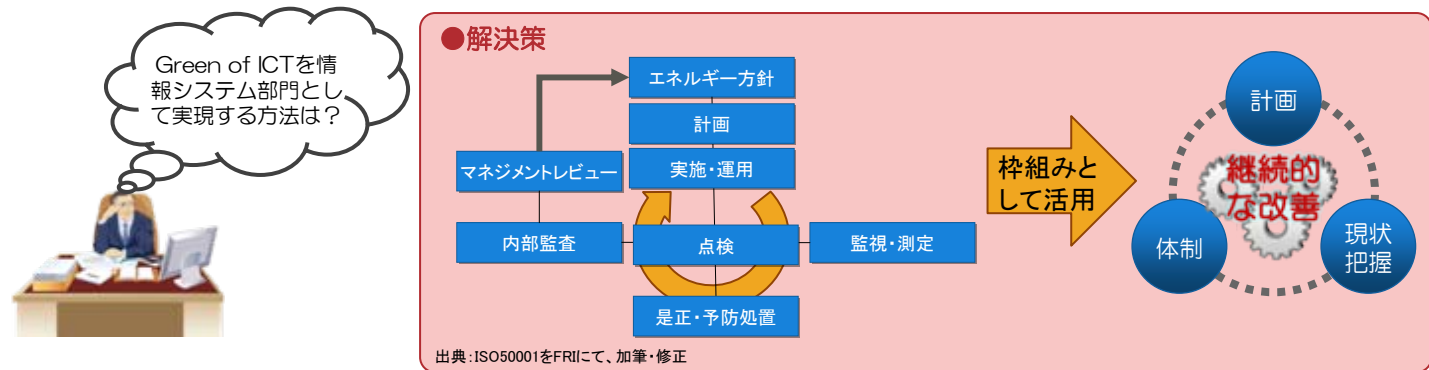
ISO50001を活用したGreen of ICTの実現

情報システム部門の担う役割

インターネットのトラフィック量の劇的増加を背景に、ICTに起因するCO2排出量が上昇しています。全社を俯瞰できる立場の情報システム部門は、自部門が管掌（所有・管理）するICTリソースに起因するCO2排出量を削減（Green of ICT）し、ICTを活用したCO2排出量を削減（Green by ICT）することにより、全社的なCO2削減に貢献していく必要があります。

Green of ICTの実現

Green of ICTを実現するためには、IT計画と整合性のとれた計画、エネルギー消費量の把握、推進体制を含む継続的な改善プロセスが必要となります。現在発行されているISO50001をマネジメントシステムの枠組みとして活用することにより、3つの要素を含むICTエネルギーマネジメントシステムを効率的に構築することができます。

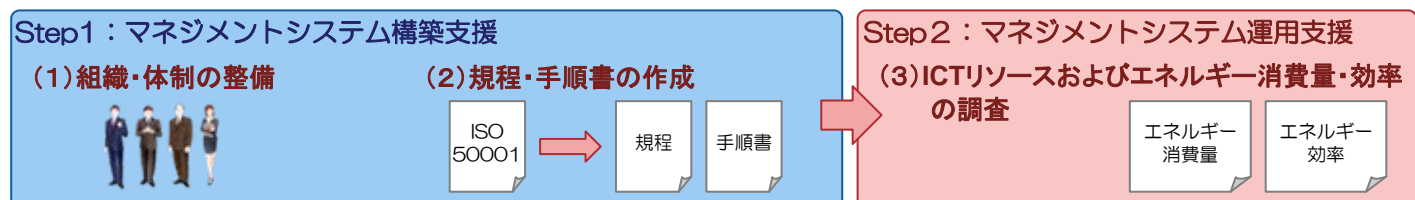


出典：ISO50001をFRIにて、加筆・修正

ISO50001を活用することにより、Green of ICTを実現するICTエネルギーマネジメントシステムを効率的に構築することができます

サービスの概要

本サービスでは、テンプレートを活用し、ICTエネルギーマネジメントシステムに必要となる「体制」、「枠組み」および「対象」を構築し、マネジメントシステム運用のご支援をいたします。



(1) 組織・体制の整備

マネジメントシステムを確立し維持するために必要となる体制を整備します。体制を整備する際には、各役割・責任を明確にし、マネジメントシステムの実効性を向上させます。

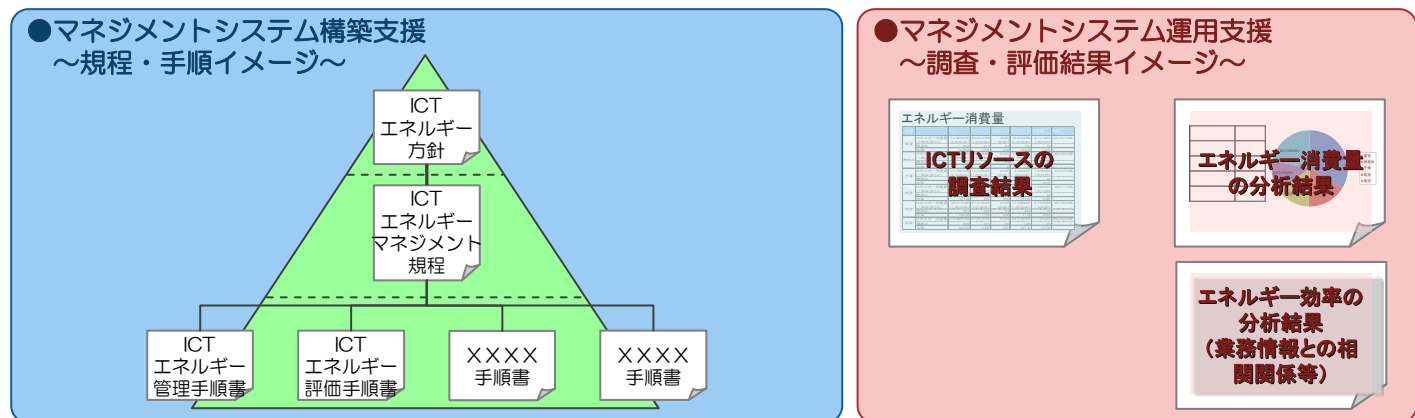
(2) 規程・手順書の作成

「ISO/DIS 50001」より、ICTエネルギーマネジメントシステムで必要となる要素を抽出し、「ICTエネルギーマネジメント規程」を作成します。また、情報システム部門の業務内容や負荷を考慮し、ICTエネルギーの管理手順および評価手順を作成します。

(3) ICTリソースおよびエネルギー消費量・効率の調査

情報システム部門が管理するICTリソースのエネルギー属性(消費電力、稼働時間等)を調査し、エネルギー消費量の評価やICTと関連性のある業務情報との相関分析を実施します。エネルギー消費量のボリュームゾーンを捉えると共に、エネルギー効率を把握することで、エネルギーパフォーマンスの改善点を明らかにします。

<成果物イメージ>

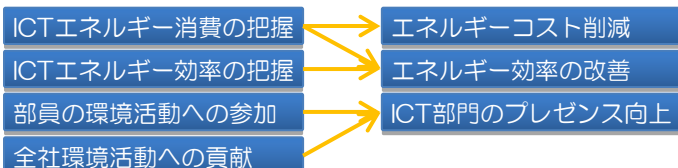


サービスの効果

マネジメントシステム導入の効果

ICTエネルギーマネジメントシステムを導入することにより、ICTエネルギー消費および効率を継続的に把握することができます。また、情報システム部員が環境活動に参加することにより環境に対する意識が向上し、全社環境活動にも貢献できます。さらには、節電対策として暫定的に実施した施策を、ICTエネルギーマネジメントシステムに組み込むことにより、計画的かつ継続的にエネルギー消費量・効率を改善することができます。

● 導入後の姿



● 期待される効果

● 暫定的な節電対策



● 計画的かつ継続的な節電対策



このカタログに掲載されている内容については、予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

2011年6月

お問い合わせ先

株式会社富士通総研

第二コンサルティング本部 環境事業部

〒105-0022 東京都港区海岸1-16-1 ニューピア竹芝サウスタワー11階 TEL:03-5401-8403